

会社の役割と仕組み

会社（企業）とは

動画1を見てください

① 動画を見て、下の文中の()に選択肢から適語を選び、記号で答えましょう。

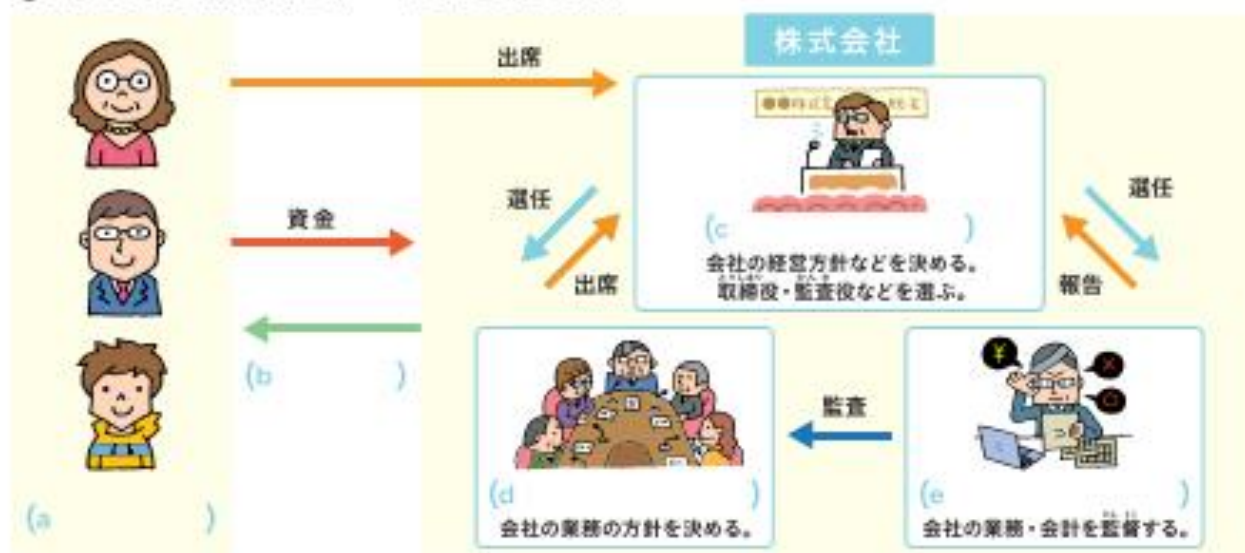
「企業」とは、ビジネスを行いたい人・事業主が必要な(a)を集め、工場や店舗などの施設を用意し、原材料や商品を仕入れ、従業員を雇い入れてビジネスを行う組織体のことをいいます。企業が社会で果たすべき役割には、「よい商品をつくり、それを提供して社会に貢献すること」、「従業員を雇用し(b)を支払って、生活を安定させること」、「利益を出して(c)を納めること」などがあります。企業が存続、成長するためには、ビジネスに必要な「費用」を上回る(d)を上げ、「利益」を出さなくてはなりません。新しいビジネスを創造し、企業や社会が発展するためには、「経営者になって会社を運営したい」という熱意、(e)を持つことが大切です。

- ア. 起業家精神 イ. 賃金 ウ. 税金 エ. 資金 オ. 収益

株式会社の仕組み

動画2を見てください

② 動画を見て、下の図の()を埋めましょう。



③ 「出資（所有）と経営の分離」について、下の文中の()に選択肢から適語を選び、記号で答えましょう。

起業したい人がいます。しかし、その人の貯金などでは会社を始める資金が足りません。資金の足りない分を、親戚や知人など多くの人に「株式」という形で引き受けてもらい、資金を集め、会社をスタートしました。

会社をスタートするときにお金を出した自分や親戚・知人は、その会社の株主ですから、会社の持ち主は株主だといえます。その後会社を大きくするためにさらに株式を発行して広く資金を集めることにすると、親戚・知人だけでなく「一般の株主」が増えてきます。一般の株主のなかには会社経営に興味はなく、もっぱら会社の利益の分け前である(a)金などを目あてに資金を提供する人もいて、会社のもうけを最大限にする経営者に会社経営を任せたいと思う人もできます。こうしたことから、(b) = 「会社の所有者」と、社長・取締役など = 「専任の経営者」が分かれることを、「(c)と(d)の分離」と呼び、現代の株式会社の特徴となっています。

- ア. 株主 イ. 配当 ウ. 株式 エ. 出資（所有） オ. 経営

株式会社って誰のもの？

「会社は株主のもの」といわれていることが多いようですが、街頭でインタビューしてみると様々な意見がありました。以下の意見を読んで、会社は誰のものか考えてみましょう。

Four interviewees express their views on who owns a company:

- 30代男性:** お金を出しているのだからやっぱり株主さんのものですかね？ (Since we are the ones who put in the money, it must be the shareholders' company, right?)
- 20代女性:** 会社のために頑張って利益を生み出しているのだから社員のものじゃないですか？ (Since we are working hard for the company and generating profit, it's not the employees' company, is it?)
- 50代男性:** 会社は世の中のためにあるのだから社会のもの？ (The company exists for the benefit of the world, so it's society's company?)
- 40代女性:** うちの家族経営の小さい会社なので、社長のものだと思います。 (Since it's a small family-run company, I think it's the owner's company.)

④ あなたの考えはどうでしょうか。

⑤ 今度はグループで話し合って意見をまとめましょう。

まとめ

株式会社は、株主をはじめ、金融機関、従業員などの利害関係者のことを考えながら経営していくことが求められています。